風景論以後

2023年8月11日[金・祝]—11月5日[日]

東京都写真美術館地下1階展示室 恵比寿ガーデンプレイス内

開館時間：10:00–18:00（木・金曜日は20:00まで）
ただし、8月11日［金］—8月31日［木］の木・金は21:00まで開館。※入館は閉館の30分前まで
休館日：毎週月曜日（月曜日が祝休日の場合開館し、翌平日休館）
観覧料：一般700円／学生560円／中高生・65歳以上350円
小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者（2名まで）は無料／
第3水曜日は65歳以上無料。8月11日［金］—8月31日［木］の木・金17:00–21:00はサマーナイトミュージアム割引
（学生・中高生無料／一般・65歳以上は団体料金）※9月18日［月・祝］敬老の日は65歳以上は無料

本展はオンラインで日時指定チケットが購入できます。
事業は諸般の事情により変更することがございます。最新情報は当館ホームページでご確認ください。

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、日本経済新聞社

助成：公益財団法人 ポーラ美術振興財団 POLA ART FOUNDATION

TOP MUSEUM

風景論以後 | After the Landscape Theory

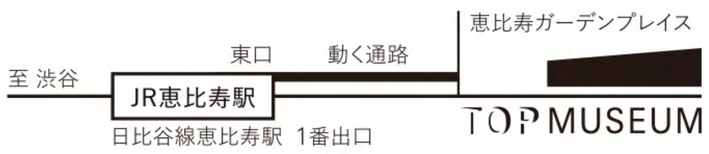
風景とは何か。一九七〇年前後の日本にあらわれた風景論は、どこにでもある風景を現実の側からとらえ直そうとしました。視覚芸術を通じて、文化、社会、政治との関係から風景を表現していくその実験は、同時代の写真家、映像作家に大きな影響を与えました。

本展では、こうした風景論をめぐる歴史的な写真映像表現を出発点に、今日の現代作家にいたる作品群を繋いでいきます。技術の発展により、誰もが日常的に風景をとらえることができる現代において、写真映像表現を改めて見つめる機会をつくります。

足立正生／岩淵進／野々村政行
山崎裕／佐々木守／松田政男

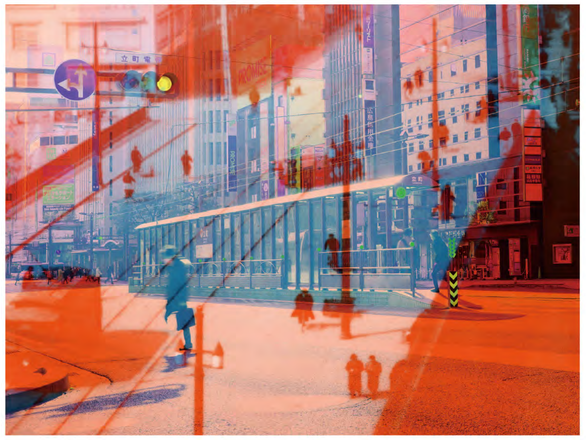
大島渚
若松孝二
中平卓馬
今井祝雄
清野賀子
崔利子
笹岡啓子
遠藤麻衣子

足立正生／岩淵進／野々村政行／山崎裕／佐々木守／松田政男《略称・連続射殺魔》1969年
デジタル（オリジナル35㎜）86分 | 日本語



〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Tel: 03-3280-0099 | www.topmuseum.jp
JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、
東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。
当館には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



1

2

風景は、初期ルネサンスに遡る風景絵画に代表されるように、芸術や美と結び付けられて語られ、西洋の近代芸術の主題となってきました。また明治維新後の日本においては、その概念が近代化の過程において大きな役割を果たしてきました。

他方で、カメラの眼からみた撮影者の視点をうつしだすという意味で、写真映像という視覚芸術において、風景はそのメディアの起源から現在まで常に重要な主題でした。そして「風景とは何か」を問いかける風景論は、常に社会的構造や美的基盤の在り方を語り、不安な時代や社会状況を契機として登場してきました。

どこにでもある風景を現実の側からとらえ直す、視覚芸術を通じて、文化、社会、政治との関係から風景を表現していくそのラディカルな方法は、1970年前後の写真家、映像作家に大きな影響を与えました。

本展では、こうした風景論をめぐる日本の写真映像表現を、当時の資料を交えて歴史的に紹介するとともに、今日の現代作家にいたるまでの写真映像と風景の変容を、コレクションを中心に包括的に紹介していきます。

また1階ホールで、出品作家による関連イヴェントおよび風景論をめぐる映画上映を行い、展覧会の魅力を多角的に紹介していきます。

企画協力：平沢剛（映画研究者）

［展示構成］

1章　2010－｜笹岡啓子、遠藤麻衣子

2章　1970－2010｜今井祝雄、清野賀子、鋚利子

3章　1968－1970｜《略称・連続射殺魔》、中平卓馬

4章　風景論の起源｜大島渚、若松孝二

3

4

［関連イヴェント］

会期中、以下のイヴェントを予定しています。

詳細は決定次第、写真美術館ホームページで公開します。

担当学芸員によるギャラリートーク　8月11日［金・祝］14:00－

担当学芸員によるギャラリートーク（手話通訳付き） 9月8日［金］／11月3日［金・祝］14:00－

会場：東京都写真美術館 地下1階展示室｜参加費：無料（要チケット提示）

※当日有効の「風景論以後」展チケットまたは展覧会無料対象の方は各種証明書等をご持参の上、地下1階展示室入口にお集まりください。

出品作家によるアーティストトーク

会場：東京都写真美術館 1階ホール｜定員190名｜参加費：無料

8月25日［金］18:00－20:00 笹岡啓子（出品作家）×倉石信乃（明治大学教授、近現代美術史・写真史）

9月30日［土］15:00－17:00 遠藤麻衣子（出品作家）他

10月9日［月・祝］13:00－15:00 今井祝雄（出品作家）×平沢剛（本展企画協力）

出品作家による上映

上映作品

鋚利子〈伊丹シリーズ〉（全12作品）｜デジタル（SD）｜東京都写真美術館蔵

A　《伊丹2005年 夏》24分
《伊丹2006年 冬》21分
《伊丹2006年 春》26分
《伊丹2006年 夏》33分

B　《伊丹2006年 秋－2007年冬》45分
《伊丹2007年 春－初夏》39分
《伊丹2007年 夏－秋》25分
《伊丹2008年 夏－秋》35分

C　《伊丹2008年 冬－2009年春》41分
《伊丹2009年 初夏－晩秋》61分

D　《伊丹2009年 冬－2010年春》52分
《伊丹2010年 春－夏》29分

遠藤麻衣子

E　《KUICHISAN》2011年｜76分｜35mm｜日本・アメリカ

F　《TECHNOLOGY》2016年｜73分｜デジタル｜日本・フランス

G　《TOKYO TELEPATH 2020》2020年｜49分｜デジタル｜日本

※配給はすべてA FOOL

上映スケジュール

8月26日［土］　10:00－**A**　13:00－**B**　15:30－**C**［※］　18:00－**D**

8月27日［日］　13:00－**E**　15:00－**F**　17:00－**G**

上映アフタートーク・ゲスト　［※］鋚利子（出品作家）、とちぎあきら（フィルムアーキビスト）

風景論をめぐる映画特集（キュレーター：平沢剛）

上映作品

H　足立正生／岩淵進／野々村政行／山崎裕／佐々木守／松田政男
《略称・連続射殺魔》1969年｜86分｜35mm｜東京都写真美術館蔵

I　大島渚《東京战争戦後秘話》1970年｜94分｜35mm｜配給：大島渚プロダクション

J　若松プロダクション《赤軍－PFLP・世界戦争宣言》1971年｜71分｜16mm
配給：若松プロダクション

K　大島渚《少年》1969年｜97分｜35mm｜配給：大島渚プロダクション

L　グループポジポジ《天地衰弱説》1969年｜30分｜デジタル（オリジナル8mm）｜作家蔵
《天地衰弱説第二章》1970年｜38分｜16mm｜作家蔵
相原信洋《風景の死滅》1971年｜15分｜デジタル（オリジナル8mm）｜作家蔵
提供：戦後映像芸術アーカイブ

M　原將人《初国知所之天皇》1973–2022年｜108分｜デジタル（オリジナル8mm、16mm）｜作家蔵

N　NDU（日本ドキュメンタリストユニオン）《沖縄エロス外伝 モトシンカカランヌー》1971年｜94分
デジタル（オリジナル16mm）｜提供：プラネット映画資料図書館

O　高嶺剛《オキナワン・ドリームショー》1974年｜111分｜デジタル（オリジナル8mm）｜作家蔵
協力：シネマトリックス

P　ジャン＝マリー・ストローブ、ダニエル・ユイレ《早すぎる、遅すぎる》1980–81年｜101分｜16mm
提供：神戸ファッション美術館

Q　ジガ・ヴェルトフ集団（ジャン＝リュック・ゴダール、ジャン＝ピエール・ゴラン）《イタリアにおける闘争》1969年｜60分｜デジタル（オリジナル16mm）｜配給：ゴーモン｜協力：マーメイドフィルム

R　ジャン＝リュック・ゴダール、アンヌ＝マリー・ミエヴィル《ヒア＆ゼア　こことよそ》1974–75年｜53分
デジタル（オリジナル16mm）｜配給：ゴーモン｜協力：マーメイドフィルム

上映スケジュール

8月24日［木］18:00－**H**［※1］

10月6日［金］18:00－**J**

10月7日［土］10:00－**K**　13:00－**I**　15:00－**L**［※2］　18:00－**M**

10月8日［日］13:00－**N**　15:00－**O**　18:00－**P**

10月9日［月・祝］15:00－**I**　18:00－**H**

10月12日［木］18:00－**Q**

10月13日［金］18:00－**R**

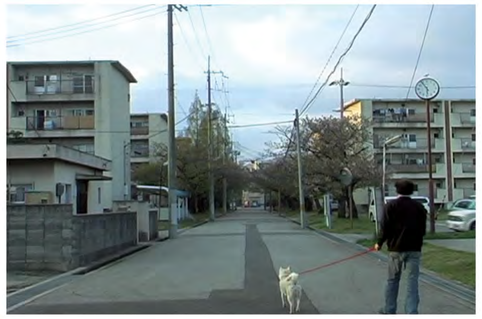
上映アフタートーク・ゲスト　［※1］山崎裕（出品作家、撮影監督）／［※2］後藤和夫（出品作家、映像作家）

上映料金（出品作家による上映＋風景論をめぐる映画特集）

当日券（1プログラムにつき）500円

●会場：東京都写真美術館 1Fホール｜定員190名 ●全席指定 ●各回定員入替制／立ち見不可／事前予約不可
●ご鑑賞当日午前10:00より、その日の全ての上映回について受付を開始いたします。●満席の場合、ご入場をお断りいたしますので、予めご了承ください。●開場は各上映開始時間の10分前を予定しています。

追加ゲストなどの最新情報は当館ホームページでご確認ください。



5

1 笹岡啓子 上〈PARK CITY〉より2022年／下 2023年 インクジェット・プリント 個人蔵｜2 遠藤麻衣子《空》2022年 オンライン映画｜3 中平卓馬《無題》1968-1969年 ゼラチン・シルバー・プリント｜4 大島渚《東京战争戦後秘話》より1970年 アーカイヴ資料映像 提供：大島渚プロダクション 協力：国立映画アーカイブ｜5 鋚利子《伊丹2006年 冬》2006年 シングルチャンネル・ヴィデオ 21分｜6 今井祝雄《阿倍野筋》1977年 シングルチャンネル・ヴィデオ（オリジナル 8mm）22分
7 清野賀子〈Emotional Imprintings〉より 1996年 発色現像方式印画　＊表記のないものはすべて東京都写真美術館蔵

6

7